



2月2日 東地申第43号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

【上野車掌区】を行う！

2022年3月ダイヤ改正では、安全・安定輸送を確保することを前提に、一部列車の延長増発による利便性向上、各種プロジェクトの進捗とご利用状況にあわせた輸送体系の変更を行うことを目的として実施されます。

また、「乗務員の業務等の見直しについて」「東京支社における現業機関における柔軟な働き方の実現について」などの施策により、働く環境が大きく変化することは確実です。

安全・安定輸送を前提として、利便性とお客さまサービスの向上、そして組合員の安全・健康はもとより、働きがい、生きがいを実現するために、以下の申し入れを行いました。

### ～申し入れ事項～

1. 上野運輸区(仮称)設立における車掌の標準数を明らかにすること。
2. 上野運輸区(仮称)の車掌における、乗務員の業務等の見直しの変更点及び乗務員の労働時間の算定に向けた再実測の変更点について、以下の通り明らかにすること。  
(1) 徒歩時間
  - ① 各駅の詰所から乗継箇所
  - ② 各本区から乗継箇所(準備・整理)
3. 品川駅、古河駅の同電折返し時間を拡大すること。
4. 平日202行路、平日209行路、平日304行路、休日206行路、休日207行路、休日305行路において乗務員の健康維持のため、適切な時間に食事を目的とした乗務の中断を確保すること。
5. 平日351行路1557E～1580E東京駅での乗り継ぎ時間が僅少のため拡大すること。
6. 特急79M、特急83Mは夜間帯で停車駅が多く車内改札・巡回のために2人乗務とすること。
7. 車内秩序維持の観点から便乗の特急85Mは改札担当とすること。
8. 平日・休日206行路は同電折返しによる長時間乗務が続くうえに、深夜帯まで乗務するため、乗務員の健康維持の観点から、身体的負担を考慮した行路設定とすること。
9. 休日351行路525Mを、睡眠を目的とした乗務の中断の確保の観点から527M担当とすること。
10. 冬季の半自動の取扱いについては、均等なサービスの提供と取扱い誤り防止の観点から早急に他支社と取扱いを統一とすること。

